

パラ・パワー・ニュース

報告：特定非営利活動法人日本パラ・

パワーリフティング連盟、事務局

問合先 : ファックス 03-6229-5420

電話 : 03-6229-5423 吉田、久保、野田

メール : jppf.jimu@gmail.com

ホームページ : <http://www.phouse.jp/>

□ リオ・テストイベント

(報告、吉田寿子)

1月21-23日、ブラジル、リオデジャネイロでリオパラリンピックテストイベントが開催されました。日本からは、団長 篠田健治、JPC 公認コーチ。男子49kg級、三浦浩選手。男子65kg級、城隆志選手の3名が派遣され、リオパラリンピックランキングアップを図りました。

大会結果は、次の通り。いずれも2位に入る大健闘を致しました。

とはいえ、この後、ドバイワールドカップ、マレーシアワールドカップと、リオランキングアップ対象大会が2つ続いています。油断はできません。

それにしても、ブラジルは、本当に、日本から見ると地球の真裏で、遠いです。飛行機に乗っている時間が正味25時間。雪という天候事情もあり、まるまる片道二日かかるという工程でした。オリンピックやパラリンピック本番でも、選手の体調管理は、かなり難しくなりそうで、各競技団体では、リオ入りする前に合宿をする、とか、途中で疲れを取るため宿泊し、3日かけてリオ入りする、などの対策をとるとのことです。

男子49kg級 三浦浩 2位

90○-141 x -141 x

男子65kg級 城隆志 2位

126○-136 x -136 x

銀メダルを獲得した城選手



選手発掘事業



1月11日、東京都北区障がい者スポーツセンターで、東京パラリンピックで活躍する選手を発掘しよう！という、事業があり、東京都知事やスポーツ庁長官も視察に来られました。

東京パラリンピックでは、日本からもたくさんの選手を送り込みたいものです。

東京都広報

東京都広報紙では、毎月、オリンピックやパラリンピックでは、どんな競技が行われるのか、という、コーナーがあります。2月号では、パラリンピックのパワーリフティングが紹介されました。

アスリート支援

東京オリパラの招致と共に、会社のアスリート支援が徐々に増えてきました。パワーリフティングでも、トップ選手には、企業から声がかかり、アスリートとしての企業就職が促進されてきています。

パワーリフティングでも、トップ選手のほとんどは、アスリート支援就職をし、トレーニング環境が整ってきています。

そんな現状をパワーの西崎選手が代表して、報告しました。



□ドバイワールドカップ

報告、吉田寿子

リオパラリンピック最終予選がドバイのワールドカップに参加してきました。結果は次の通り。

この後、マレーシアでのワールドカップがあり、2月29日でリオパラランキングが閉められ、3月15日ごろ、リオ参加選手第一候補が決まります。その後、バイパルタイトを経て、最終的に、4月11日にリオ参加選手が決定します。

男子 54kg 級 西崎哲男（乃村工藝社）
3位 128 kg

男子 65kg 級 城隆志（オムロン太陽）
11位 125 kg

男子 72kg 級 佐野義貴
（アクテイリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社）
11位 101 kg

男子 80 kg 級 宇城元（順天堂大学） 7位 184 kg

男子 88 kg 級 大堂秀樹（名古屋眼鏡株式会社） 9位 164 kg



厳しい判定の中3位に入った西崎選手

□ Road to Tokyo Para Games

目指せ東京パラリンピック！

Step 1 クラス分けを持っていない選手はIPCから正選手と認められません

パラリンピックパワーリフティングでは、最低限の下肢障害がないと参加できません。それを判定するのが「クラス分け」です。日本でもクラス分けドクターがいますが、IPCに認めてもらうためには、IPC公認クラス分けドクター2名による判定が必要です。

6/25（土曜日）北九州小倉北体育館にて、国際クラス分けドクターを招聘してクラス分けを実施します。こちらを受けることが東京パラリンピックの第一ステップです。（既にパワーリフティングのクラス分けを持っている選手は不要。他競技の選手のクラス分けは不可）

Step 2 世界大会参加標準記録の突破

東京パラリンピックを目指したいと考えておられる選手の方、東京パラリンピックに派遣したいという選手をコーチしておられる方、上記のパラ・パワーリフティング連盟あてにご連絡下さい。

開催要項、大会参加標準記録、その他の情報をご連絡いたします。